



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日
上場取引所 東

上場会社名 ワイエイシーホールディングス株式会社
 コード番号 6298 URL <https://www.yac.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 畠山 督 TEL 042-546-1161
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,900	3.2	45	△62.7	133	13.5	78	139.3
2022年3月期第1四半期	4,748	△10.1	122	—	117	—	32	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 212百万円 (104.1%) 2022年3月期第1四半期 103百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	8.64	8.57
2022年3月期第1四半期	3.63	3.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	36,426	15,318	41.9
2022年3月期	36,997	15,324	41.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 15,271百万円 2022年3月期 15,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	24.00	36.00
2023年3月期	—				
2023年3月期（予想）		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	31.6	3,000	91.5	2,800	87.7	1,700	53.5	186.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動： 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	9,758,947株	2022年3月期	9,758,947株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	630,339株	2022年3月期	629,389株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	9,129,537株	2022年3月期1Q	9,088,509株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想、配当金に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)における世界経済は、ウクライナ情勢に伴う資源価格の上昇や中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱などから国内外でインフレが進行したことにより、先行きに対する不透明感が増し、景気後退の懸念が高まりました。

当社グループを取り巻く事業環境では、資材価格の高騰と部品調達難等による粗利益の低下及び顧客の都合による納期後送りにより弱含みでしたが、電子部品の極小化・多様化及びデータセンタ需要の拡大、電力・医療の需要拡大等により受注は引き続き堅調に推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高49億円(前年同四半期比3.2%増)、営業利益45百万円(前年同四半期比62.7%減)、経常利益1億33百万円(前年同四半期比13.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益78百万円(前年同四半期比139.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(メカトロニクス関連事業)

バーニッシャー装置、電子部品・車載向けテーピング装置及び自動機は、旺盛な需要により受注は好調に推移致しましたが、サプライチェーンの混乱等により売上及び利益共に減少となりました。

これらの結果、メカトロニクス関連事業の売上高は21億68百万円(前年同四半期比24.6%減)となり、セグメント利益は90百万円(前年同四半期比76.5%減)となりました。

(ディスプレイ関連事業)

前期のFPD用熱処理炉の好調な受注残により売上は拡大し、セグメント損失も大幅な改善となりました。

これらの結果、ディスプレイ関連事業の売上高は12億89百万円(同274.9%増)となり、セグメント損失は89百万円(前年同四半期はセグメント損失2億38百万円)となりました。

(産業機器関連事業)

国内外向けホームクリーニング市場は縮小傾向が収まり、医療リネン市場の開拓も順調に推移しました。包装機材に対する新ビジネスもまだ売上に寄与はしていませんが、開発は順調に進んでいます。

これらの結果、産業機器関連事業の売上高は1億50百万円(同17.4%増)、セグメント損失は33百万円(前年同四半期はセグメント損失60百万円)となりました。

(電子機器関連事業)

電力会社向け制御通信機器の販売は順調に推移しましたが、人工透析装置は部材の納期遅延により予想を下回る結果となりました。

これらの結果、電子機器関連事業の売上高は12億92百万円(同7.8%減)、セグメント利益は49百万円(前年同四半期はセグメント損失7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は283億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億59百万円の減少となりました。主な要因は、仕掛品14億40百万円の増加、現金及び預金17億45百万円及び受取手形及び売掛金7億74百万円の減少です。固定資産は81億19百万円と前連結会計年度末とほぼ変わりませんでした。その結果、資産合計は364億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億71百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は137億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金7億44百万円の増加、短期借入金10億93百万円の減少です。固定負債は73億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億26百万円の減少となりました。主な要因は長期借入金4億97百万円の減少です。その結果、負債は211億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億64百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は153億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少しました。その結果、自己資本比率は41.9%(前連結会計年度末は41.3%)となりました。

(3) 連結業績予想、配当金に関する説明

2023年3月期の連結業績(通期)及び配当金につきましては、2022年5月13日に公表しました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,695	6,950
受取手形及び売掛金	10,572	9,798
有価証券	0	0
商品及び製品	1,362	1,427
仕掛品	5,780	7,220
原材料及び貯蔵品	1,703	1,875
その他	857	1,141
貸倒引当金	△106	△108
流動資産合計	28,865	28,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,069	5,084
減価償却累計額	△3,321	△3,361
建物及び構築物(純額)	1,747	1,723
機械装置及び運搬具	2,487	2,534
減価償却累計額	△1,981	△2,042
機械装置及び運搬具(純額)	506	492
工具、器具及び備品	3,684	3,784
減価償却累計額	△3,341	△3,388
工具、器具及び備品(純額)	343	396
土地	3,597	3,597
リース資産	349	309
減価償却累計額	△181	△172
リース資産(純額)	168	137
建設仮勘定	477	492
有形固定資産合計	6,840	6,839
無形固定資産		
のれん	59	29
ソフトウェア	45	36
リース資産	69	93
電話加入権	20	20
その他	20	32
無形固定資産合計	216	212
投資その他の資産		
投資有価証券	308	303
長期貸付金	13	12
繰延税金資産	596	595
長期滞留債権等	163	163
その他	179	177
貸倒引当金	△185	△185
投資その他の資産合計	1,075	1,067
固定資産合計	8,131	8,119
資産合計	36,997	36,426

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,219	5,964
短期借入金	7,198	6,105
リース債務	77	69
未払法人税等	178	62
賞与引当金	423	451
製品保証引当金	70	75
未払費用	271	301
前受金	129	173
その他	255	583
流動負債合計	13,824	13,786
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	5,537	5,040
リース債務	183	180
繰延税金負債	93	80
退職給付に係る負債	1,283	1,299
資産除去債務	50	53
事業整理損失引当金	170	139
その他	28	28
固定負債合計	7,848	7,321
負債合計	21,672	21,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801	2,801
資本剰余金	3,646	3,646
利益剰余金	9,406	9,266
自己株式	△535	△535
株主資本合計	15,318	15,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△5
為替換算調整勘定	△48	88
退職給付に係る調整累計額	11	9
その他の包括利益累計額合計	△40	92
新株予約権	46	46
純資産合計	15,324	15,318
負債純資産合計	36,997	36,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,748	4,900
売上原価	3,534	3,775
売上総利益	1,214	1,125
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	446	442
賞与引当金繰入額	42	44
福利厚生費	19	19
賃借料	44	44
業務委託費	26	18
研究開発費	107	95
減価償却費	38	34
その他	367	380
販売費及び一般管理費合計	1,091	1,080
営業利益	122	45
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	50
為替差益	—	48
受取賃貸料	4	4
受取保険金	6	—
その他	11	7
営業外収益合計	25	111
営業外費用		
支払利息	20	17
為替差損	4	—
持分法による投資損失	1	2
その他	3	4
営業外費用合計	30	24
経常利益	117	133
特別利益		
固定資産売却益	1	—
その他	—	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
その他	0	—
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	117	133
法人税、住民税及び事業税	126	66
法人税等調整額	△41	△12
法人税等合計	84	54
四半期純利益	32	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	32	78

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	32	78
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△1
為替換算調整勘定	67	137
退職給付に係る調整額	2	△1
その他の包括利益合計	71	133
四半期包括利益	103	212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	103	212
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	2,874	344	127	1,402	4,748	—	4,748
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	0	0	0	1	△1	—
計	2,874	344	128	1,402	4,749	△1	4,748
セグメント利益 又は損失(△)	383	△238	△60	△7	77	44	122

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額44百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等229百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△185百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合 計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メカトロニク ス関連事業	ディスプレイ 関連事業	産業機器 関連事業	電子機器 関連事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	2,168	1,289	150	1,292	4,900	—	4,900
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	4	0	0	4	△4	—
計	2,168	1,294	150	1,292	4,905	△4	4,900
セグメント利益 又は損失(△)	90	△89	△33	49	17	28	45

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額28百万円は、各報告セグメントに配分しない全社収益及び全社費用であります。全社収益は主に各報告セグメントに帰属する連結子会社からの経営管理料等270百万円であります。また、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用△242百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。